

農業経営学科

農業経営の

プロフェッショナルを

育てる。

子どもの頃からの夢を実現したい。
祖父母の事業をさらに大きく発展させる。

農林業経営学部 農業経営学科

内條 寛斗 Hiroto Naijo

青森県立三本木農業恵拓高等学校出身

一般的には少し早いかもしれませんが、家業が農業だったこともあり中学を卒業する前には、農業を自分の一生の仕事にしたいと考えるようになっていました。祖父母が手がける水稻やニンニク栽培を見ながら、自分だったらどうするだろうと子どもなりにいろいろ想像したものです。高校2年生のときに農業クラブに入って、未来への道筋を歩み始めました。そして東北農林専門職大学に入学したことで、自分のビジョンがより具体的になったような気がします。また同じ夢を抱く仲間たちに出会えたことも嬉しいですね。4年間の内に知識と実践的な技術をしっかり身につけて、祖父母が続けてきた事業をさらに発展させていきたいと考えています。

新しい時代、農業分野の可能性を広げる。 多様なビジネスの視点を磨いていく。

1 農業の「生産管理」と「経営管理」の両方の理論を学べます。

最新の技術を使ったスマート農業など生産の現場は大きく進歩しています。基礎から先進的な生産技術まで理解できるよう多角的なカリキュラムを用意しています。また農業をしっかりと事業として運営していくために、経営に関わる知識も学びます。さらに時代の動き、国際情勢を理解することなど柔軟な対応力を身につけることも大切なポイントです。

2 学内外での豊富な実習で実務が学べます。

| | |
|------------------|---|
| 学内実習 | 学内圃場で基礎から先進的なものまで生産技術を学ぶ。学内加工施設で6次産業化の基礎から販売まで学ぶ。 |
| 実地体験実習 | 優れた農業経営体で経営実態の理解を深める。 |
| 臨地実務実習 | 東北6県の農業経営体で、生産技術及び経営管理に関する知識、技術、経営戦略等を学ぶ。 |
| 国際農業・森林業実習（自由科目） | 海外の大学や先進農業地で農業経営の実態を学ぶ。 |

3 幅広い分野が学べます。

本学科では農業に密接に関連する分野も学修することができます（例えば、食品製造・販売、発酵学・醸造学など）。これらは将来の事業展開や経営のさらなる発展につながる可能性があります。

地域から世界へ。農業をけん引する未来のリーダーを育成します。

東北地方は日本有数の農業地帯です。しかし担い手不足や高齢化が深刻な問題となっています。東北農林専門職大学は知識だけ、あるいは技術だけに偏るのではなく、より現実的な農業経営の担い手を育成していきます。地域社会の発展に寄与するのももちろんのこと、世界を相手にしたグローバルなビジネスとして展開することも可能です。地域の農業をけん引するリーダーが、将来ここから続々と巣立っていくことを期待しています。

農林業経営学部
農業経営学科
准教授 多田 史人



農業経営学科
阿部 快海
Koh Abe
宮城県農業高等学校出身

農業経営学科
齊藤 由翔
Naoto Saito
山形県立新庄神室産業
高等学校出身

農業経営学科
内條 寛斗
Hiroto Naijo
青森県立三本木農業恵拓
高等学校出身

2年次から学びはさらに深く、レベルアップ 専攻

稲作

稲作専攻では、私たちの食生活に欠かせない「稲」や「大豆」等について授業や実習をしています。美味しいお米をたくさん収穫するためにはどうすればいいのか、米づくりを楽にするためにはどうすればいいのか、などの課題解決のため、作物栽培の理論のほか、ドローンやスマート農業も活用した実践的な内容を学ぶことができます。稲作に興味があるみなさん、ぜひ一緒に学んでみませんか。

果樹

果樹専攻では、山形県を代表するオウトウ、セイヨウナシをはじめ、リンゴ、ブドウ、モモなどの多様な果樹について、栽培方法、生理生態、病害虫防除、収穫・貯蔵・流通技術まで幅広く学びます。圃場実習や講義、臨地実務実習を通し、理論と実践の両面から果樹生産の現場を深く理解することができます。次世代の果樹産業を担う、あなたの情熱を实らせてください。

野菜・花き

野菜・花き専攻では、東北各県で産地化されている品目を題材として、座学だけでなく学内外の実習を通して理論と実践的な技術を学びます。学内実習では、トマトやネギ、キク、トルコギキョウなどの生産を通して栽培に関する基本的な知識、技術に加え、環境モニタリングをはじめとするスマート農業に触れることができます。一緒に、新しい東北の野菜花き生産について考えましょう！

畜産

畜産専攻では、本学で飼養している肉用牛や実験室に整備されている血液検査機器等の施設設備に加え、隣接する畜産研究所で所有する家畜や試験圃場を活用した学びの場を用意しています。座学や学内実習、臨地実務実習のほか、多様な経営体や畜産関係施設の視察を通じて、飼養管理の理論と実践を学びながら「畜産業の実際」に触れる教育を行っています。

臨地実務実習先紹介

実習先

1

農事組合法人
村木沢あじさい営農組合

長く農業で成り立ってきた地域だからこそ、農業の危機感を共有し、なんとかしようという思いから生まれた組合です。平成25年にはさらに地域の農業の将来を見据えて法人を設立。現在も個別の農家とていねいに話し合いながら、事業の充実を図っています。

実習に来られる学生のみなさんにとって3年間という長期にわたって農業の現場を経験する機会は、本当に価値あることだと思います。作業内容だけでなく、農業経営の現場で日々、どう考え感じているかを身体で学ぶことは将来きっと役立つはずです。ぜひ我々と一緒に地域や日本の農業を元気にしてほしいですね。

地域を元気にする
これからの農業を共に考える。
山形の農業の未来を創ろう。



農業経営学科
高野 耕平
山形県立山形中央
高等学校出身



農業経営学科
鏡 大翔
山形県立上山明新館
高等学校出身

PROFILE

山形県山形市反町53番地1
平成18年9月：特定農業団体 設立
平成25年4月：農事組合法人 設立
組合員数：292名(令和7年現在)
従業員数：14名(令和6年4月現在)
主な生産・販売品目：米、大豆、小麦、そば、里芋、枝豆、
啓翁桜、その他農産物、みそ、ラーメン他委託加工品
平成25年度
山形県ベストアグリ賞「東北農政局長賞」受賞
全国農業協同組合中央会主催 第1回地域営農ビジョン
大賞「実践部門大賞」受賞
<https://murakisawa-ajisai.or.jp/>



農業経営学科
青山 大森
日本航空高等学校出身

高品質の切り花を安定生産。
生活シーンに映える花を
ネットで消費者へ直接販売。

実習先

2

有限会社
熊谷園芸

主たる事業は、バラやりんどう、ピバーナムなどの切り花栽培です。さらに花束などにアレンジし販売しています。インターネットで様々なボリューム、スタイルの花束をお客様がご予算や生活シーンに合わせてお買い物いただけるようホームページも工夫しています。花に限らず農産物は高品質のものを生産するのは当たり前で、それをどう売るかマーケティングも考えることが農業経営です。花の栽培というときれいで派手なイメージもあるかもしれませんが、他の農業分野と同じできちんとした技術で取り組むことが安定経営には必要です。実習ではじっくり技術を学び、さらに農業経営の視点からどう売るかも考えてほしいですね。

PROFILE

山形県最上郡鮎川村京塚字中ノ沢4701-3
昭和49年：農業就業
昭和63年：有限会社 熊谷園芸 設立
事業内容：バラ・りんどう・ピバーナムの生産・販売
生産品種数：バラ／約40品種、
りんどう／10品種以上
栽培面積：温室面積／25,356㎡、
露地面積／7,504㎡
2021年：やまがたフラワーフェスティバル2021
「金賞 農林水産大臣賞」
<https://kg-rose.com/index.html>



ここに集い、高め合う。

農業経営の未来を担う若き力が



次代の農業を創る、幅広い視野を持った人材を育成します。

農業、森林業は人が生きていく上で必須の食料を生産し、生活に影響する自然環境に強く関わります。それを学び、それを担うことは大変尊いことといえます。

農業経営学科では、その素質の発揮に必要な生産理論や技術などの知識と経験を獲得できます。生産管理と経営管理などを体系的に学ぶ「職業専門科目」を通して東北の農業の現状と課題を理解し、解決方法を考える力を身につけることが可能です。また、教養を深める英語や情報などの「基礎科目」と、農業経営のための様々な知識を獲得できる「展開科目」でさらに視野を広げることができます。そして、学んだことを実践するために自らが目指す農業経営の分析・計画作りを実習先の経営者と教員がサポートします。未来の農業経営者を目指すみなさんを待っています。

東北農林専門職大学
農林業経営学部学部長
(兼) 農業経営学科 学科長
小沢 互
Wataru Ozawa

博士(農学)(東北大学) 専門分野: 農業経済学

秋田県立農業短期大学、山形大学農学部等で農業経営・経済の教育と経営効率性、地域の合意形成、農業者のモチベーションを研究。山形県農業・農村政策審議会会長を長年にわたり務める。山形大学名誉教授

Pick Up Curriculum

農業経営学科のカリキュラム

農業概論

日本と世界の農業が直面している現状と課題、6次産業化、各農業分野におけるこれからの展望等について学びます。これらを通じて、稲作や園芸作物・畜産の生産や生産物の取扱いに関する基礎全般について知識を深めることができます。

土壌・肥料学

近年、地域資源や有用生物を活用した持続的・環境保全型農業に対するニーズが高まり、環境に配慮した栽培を行う上で土壌・肥料に関する知識は非常に重要なものとなっています。本科目では、土壌の基礎知識のほか、養分吸収特性、植物生産の代謝との関連、栄養特性、肥料の種類と特性等について学びます。

食品生産工程・食品衛生論

食品衛生と農業生産工程管理(GAP)について学びます。食品衛生に関する科学と関連法規の知識はこれからの農業経営にとって必須です。本科目では、食品と微生物、食中毒、汚染物質、食品衛生管理と併せて、GAPの仕組みと管理方法、リスク評価方法について学びます。

先端農業技術論

AIやドローン、ICTなどに代表される農業分野での技術革新が進む中、この新たな技術を取り入れた生産性・収益性の高い農業の実践が求められています。本科目では、各分野の専門家を招聘し、農業分野における先端技術の活用に向けた研究開発・実証・実施・普及の状況やその内容等について学びます。

農業経営分析・計画

農業経営は、経営状況の把握・分析をしっかり行い、それに基づいて適正な経営計画を立案し、確実に実行していく必要があります。本科目では、経営分析や経営計画の考え方や手順、コンピュータを利用したデータ処理の技術を学びます。

農山村活性化論(両学科共通)

過疎化や高齢化、耕作放棄地の増加など、様々な課題を抱える農山村地域。そのあり方を地域住民の視点で考えていく必要があります。本科目は、同時期に開講する「農山村活性化論演習」の学びとともに、農山村の生活や地域社会を取り巻く課題を理解し、その改善や解決に向けた対応と手法について学びます。

学問理論と現場の実践。研究者教員と実務家教員がハイブリッドな教育研究をサポートします。

農業経営学科では稲作、果樹、野菜・花きおよび畜産の各専攻分野に研究能力のある教員と実務能力のある教員を配置するほか、養成する人材像に関連の高い農産加工および経済・経営の専任教員も配置し、理論と実践とを関連づけて学べるハイブリッドな教育研究ができる体制を確保しています。

例えば、
こんな研究をしている
教員がいます

- 農林業の生態系循環と地域産業の活性化に取り組む教員
- さくらんぼの育種や栽培に長年取り組み、新品種の育種を数多く行った教員
- 和牛肉の食味の見える化の研究等を通じ、多数の特許等を取得している教員



農業経営学科の定員および専任教員

| 入学定員 | 収容定員 (+3年次編入) | 専任教員 | | | 教員数計 |
|------|------------------|---------|-------|-------|------|
| | | 学部長・学科長 | 研究者教員 | 実務家教員 | |
| 32 | 128+4 | 1 | 7 | 11 | 19 |

農業経営学科 カリキュラムマップ

■:必修科目 ■:選択科目
 ■:自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)

| | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | |
|------------|---|---|---|--------------------|---|--------------------|--|----|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 基礎科目(20) | 地域等の特性(4単位) | | | | | | | |
| | 山形・東北の風土・伝統文化(2) | | | | 哲学と東北(2) | | | |
| | コミュニケーション能力(6単位) | | | | | | | |
| | (自由)英語基礎(2) ビジネス英語I(2) | | ビジネス英語II(2) | | | | | |
| | コミュニケーション論(2) | | | | | | | |
| 職業専門科目(19) | 一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位) | | | | | | | |
| | キャリアサポートセミナーI(1~4年)、II(2~4年)、III(3~4年) | | | | | | | |
| | スポーツ(1) | | SDGsと倫理(2) | | 情報活用(1) | | 経済学入門(2) | |
| | 2単位を選択 ■気象・気候学概論 ■統計学 | | 2単位を選択 ■政治学概論 ■社会学概論 ■法律学概論 | | | | | |
| | 生産技術・理論(30単位) | | | | | | | |
| | ■土壌・肥科学(2) ■農業概論(4) ■耕畜連携論(1) | | 農業概論演習(2) | | 先端農業技術論(1) | | | |
| | 2単位を選択 ■植物保護学 ■家畜衛生学 | | 2単位を選択 ■栽培各論(稲作) ■栽培各論(果樹) ■栽培各論(野菜・花き) ■飼育各論(畜産) | | 8単位を選択 ■圃場実習II(稲作) ■圃場実習II(果樹) ■圃場実習II(野菜・花き) ■圃場実習II(畜産) | | | |
| | 圃場実習I(8) | | | | | | | |
| | 経営全般(43単位) | | | | | | | |
| | 農業実地体験実習(1) | | 農業生産工程・食品衛生論(2) | | ■SDGsと農業・森林業(2) ■国際農業論(1) | | ■農業政策(2) ■組織マネジメント論(2) ■農業経済学(2) ■農業的財産論(1) | |
| | | 2単位を選択 ■マーケティング論(2) ■農業経営分析・計画(2) ■税制・簿記論(1) | | ■簿記各論(1) | | | | |
| | | 臨地実務実習I(生産管理等)(8) | | 臨地実務実習II(経営管理等)(8) | | 臨地実務実習III(経営総合)(8) | | |
| | | (自由)国際農業・森林業実習(2) | | どちらか1つの履修時期を選択 | | (自由)国際農業・森林業実習(2) | | |
| 展開科目(24) | 地域課題解決能力(6単位) | | | | | | | |
| | | | 2単位を選択 ■東北の稲作 ■東北の果樹 ■東北の野菜・花き ■東北の畜産 | | ■農山村活性化論(2) ■農山村活性化論演習(2) | | | |
| | 応用的・創造的能力(24単位) 講義(必修:2年後期、選択:1~4年前期):2単位、演習(1~4年後期):2単位、実習(3年通年):2単位 ※講義12単位と演習・実習12単位を選択 | | | | | | | |
| 総合科目(4) | | | 食品製造・販売(2) | | 食品製造・販売実習(2) | | | |
| | ■デザイン論(偶数年度開講) ■デザイン論演習(偶数年度開講) ■金融論(奇数年度開講) ■金融論演習(奇数年度開講) ■発酵学・醸造学(偶数年度開講) ■発酵学・醸造学演習(偶数年度開講) ■建築学(奇数年度開講) ■建築学演習(奇数年度開講) ■社会福祉論(偶数年度開講) ■社会福祉論演習(偶数年度開講) ■栄養学(奇数年度開講) ■栄養学演習(奇数年度開講) ■山形・東北観光学(奇数年度開講) ■山形・東北観光学演習(奇数年度開講) | | | | | | | |
| 総合的能力(4単位) | | | | | | | | |
| | | | | | | 経営分析・計画演習(4) | | |

取得学位について 農業学士(専門職)

取得を目指せる資格一覧

- 小型車両系建設機械(整地・運搬・積込用、掘削用) 運転特別教育修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証
- 大型特殊自動車免許(農耕用)
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 日商簿記検定(2級) ※1
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル3) ※2

※1 試験範囲を網羅した授業を実施。資格取得のためには検定試験を受験して合格する必要がある。
 ※2 指定の科目を履修することで、資格取得の要件が満たされる。資格取得を希望する場合は、資格審査事務局に申請する必要がある。